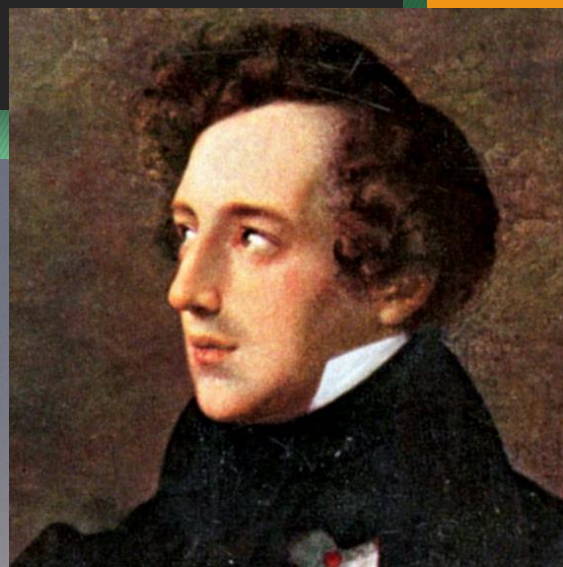
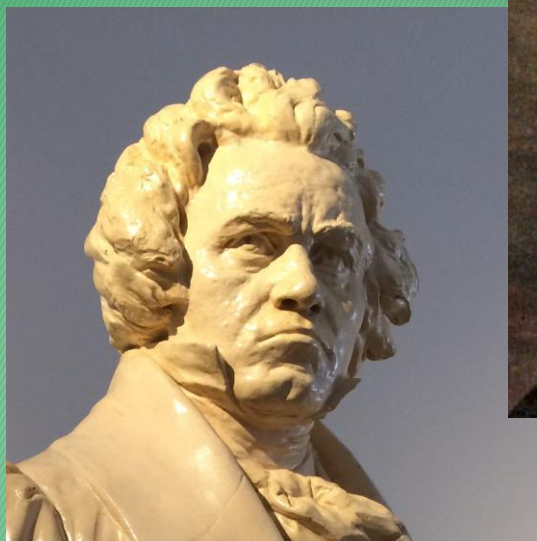


流山フィルハーモニー交響楽団  
第57回定期演奏会

ベートーヴェン ピアノ協奏曲 第4番  
メンデルスゾーン 交響曲 第5番  
「宗教改革」



指揮 佐藤 雄一 (Yuichi Sato)

ピアノ独奏 鈴木 裕子 (Yuko Suzuki)

2021年5月30日(日)  
13:30開場 14:00開演  
流山市文化会館

全席自由  
当日券のみ 1,000円 (中学生以下無料)  
メールによるお問合せ ryuphil\_info@yahoo.co.jp  
電話 090-8744-1570 (小林)

- ◆ ご入場、ご着席の際は間隔をあけて下さい。
- ◆ 会場内では必ずマスクを着用し、咳エチケットにご協力ください。
- ◆ 会場は入場人数の制限をしております。あらかじめご了承ください。
- ◆ ご来場の際は、チケットの裏面下部にお名前と連絡先をご記入のうえ、切り取って受付の回収箱にお入れください。
- ◆ お客様とスタッフ・団員との接触を極力少なくするため、花束、プレゼント等のお預かりや団員との面会はできません。

## <第57回定期演奏会にあたって>

昨年6月の第56回に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大下でのコンサートとなりました。曲目は、ピアニストの鈴木裕子氏をソロに迎えて、ベートーヴェン ピアノ協奏曲 第4番、次にメンデルスゾーン 交響曲第5番「宗教改革」をお送りします。

### ベートーヴェン ピアノ協奏曲 第4番 ト長調 作品58

「ベートーヴェンもこんなに優しく柔らかい曲を書くのか」と驚かされるような、36歳の時の作品。1804年から10年間にわたる「傑作の森」の時期に書かれ、交響曲第5、第6番とともに1808年、ベートーヴェン自身の独奏によりウィーンで初演されました。オーケストラの前奏なしにピアノの優しい独奏に始まる一楽章、弦楽器が厳しい表情を作る中でピアノが優しく瞑想的なメロディを奏でる二楽章、明るく快活な三楽章、の三つの楽章で構成されています。

### メンデルスゾーン 交響曲第5番 ニ長調 作品107「宗教改革」

交響曲第5番とされていますが、実際にはメンデルスゾーンが21歳の時、2番目の交響曲として書かれました。メンデルスゾーンは、父の代にキリスト教(ルター派)に改宗した裕福なユダヤ系家族に、早熟な神童として生まれ育ち、深い教養と才能の持ち主でした。

一楽章では、後にワグナーが「パルジファル」で引用する「ドレスデン・アーメン」(ドレスデン宮廷教会の賛美歌の一部)の旋律が三度、登場します。二楽章はスケルツォ的な舞曲、三楽章は叙情的な短調のメロディです。四楽章では冒頭、宗教改革の立役者マルティン・ルター作曲のコラール(賛美歌)「神はわがやぐら」の旋律をフルート、次いで管楽器が奏で、最後はオーケストラ全体による壮大なコラールで締めくくります。

## 演奏者のご紹介

### 指揮 佐藤 雄一 (Yuichi Sato)

国立音楽大学教育音楽学科第Ⅰ類卒業。大学在学中に室内オーケストラ「アマデウス・アンサンブル」、合唱団「コレギウム・ヴォカール東京」を組織して指揮。小林道夫氏からは「音に対してこれほどまでに具体的なイメージを持てることは驚異的」との讃辞を受ける。また若手プロ演奏家による「NENDOオーケストラ」を組織して指揮。1999年にパリ・エコール・ノルマル音楽院指揮科に学び、一年後には音楽院初となる飛び級で高等ディプロムを取得し首席で卒業、音楽院史上最高得点に対し審査員特別賞を授与される。流山フィルへは十年以上に渡って数多く客演している。

### ピアノ独奏 鈴木 裕子 (Yuko Suzuki)

千葉県出身。茨城県立取手松陽高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部演奏学科を卒業。第16回国際ピアノデュオコンクール入選。同コンクールのオーディションに合格し受賞者記念コンサートに出演の他、多数の演奏会に出演。

これまでにピアノを人見ひろ美、黒田亜樹、雨田のぶ子の各氏に師事。2台ピアノを三輪郁、斎木隆、上原興隆、小澤英世、瀬尾久仁&加藤真一郎の各氏に師事。

現在、後進の指導にあたっている傍ら演奏活動中。

流山フィルの定期演奏会においては、第41回(2012年)でグリーグ、第46回(2014年)でシューマンの各ピアノ協奏曲を共演、今回が3回目の共演となる。

## 会場のご案内

- ・流鉄流山線 流山駅より徒歩 8 分
- ・つくばエクスプレス 流山セントラルパーク駅より徒歩 20 分

